

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第5学年

【単元名】 We Can!① Unit 5 She can run fast. He can jump high. (8時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
2 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文及び文構造	2 (2) ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：夢の時間割をつくり、紹介し合った。(Unit 3)

- ・曜日や教科等の言い方を理解した。
- ・好きな教科等についてやり取りをした。
- ・夢の時間割を紹介し、簡単な感想を伝え合った。

働かせる見方・考え方：相手に配慮し、情報を整理しながら考えを形成し、再構築すること。

時間	学習活動 (時間)	留意点
1	1 オリエンテーション (1) ・単元の内容とゴールを知る。 ・Who am I?クイズを教師が行い、I can ~.の表現を知る。	<p style="text-align: center;">単元の見通しをもつ場面</p> <p>☞単元の終末に行う言語活動のモデルを示し、見通しをもつように促す。</p>
Lesson Goal : 学校の先生方の意外な一面を友達に伝えよう		
2	2 できることについて尋ねたり言ったりする表現を練習する (2) ・Let's Listen を通して、教師とやり取りをしたり、ポインティングゲーム等を行ったりすることを通して、I can ~.や Can you ~? が言えるようになる。	<p style="text-align: center;">紹介するために必要な表現を理解したり練習したりする場面</p> <p>☞表現に慣れ親しむ活動を仕組むようにする。 ☞友達のできることを予想してインタビューし合うようにする。</p>
3	3 友達とできることについてインタビューし合う。	<p style="text-align: center;">友達の紹介をする場面</p> <p>☞まず、インタビューの結果をもとに友達を紹介する場を設定する。 ☞動画の視聴を通して第三者の紹介をする際に使う表現を児童とやり取りをしながら確認する。 ☞別の聞き手に動画から学んだ表現を加える等して友達を紹介し、前回よりも友達の紹介の仕方が改善されるようにする。 ☞休み時間等で教師のところにインタビューに行きます。先生方には英語で答えていただくように、あらかじめ依頼しておく。</p>
4	3 実際に英語を使いながら紹介に必要な表現を身に付ける (4) ・友達にインタビューした内容をもとに、紹介をする。	<p style="text-align: center;">先生の紹介をする場面</p> <p>☞動画の視聴で確認した表現や友達の紹介で経験したことを生かして、友達に学校の先生の意外な一面(できること等)について紹介する。</p>
5	4 動画を含んだ Let's Watch and Think2 を視聴し、友達の紹介に必要な表現を知る。	
6	4 相手を変えて再度友達の紹介をする。	
7	4 学校の先生方にインタビューをし、次時に備える。	
8	4 先生の紹介をする (1)	

次単元へのつながり：自分にとってのヒーローについて紹介し合う。(Unit 9)

- ・得意なことを言うときの表現を理解する。
- ・紹介の仕方を理解する。
- ・自分にとってのヒーローを紹介し合う。